



世界に希望を生み出そう

クラブテーマ 充実した例会に

第2872回 No.61-14

2023年11月19日(日) 第2例会

ロータリー財団月間

『移動例会』 桐生が岡動物園

プログラム

- 8:15 集合 本庄市民文化会館 駐車場
 1 点鐘
 2 ロータリーソング(割愛)
 3 会長の時間
 4 幹事報告
 5 地区及び委員会報告(割愛)
 6 ニコニコBOX発表(割愛)
 7 出席率発表(割愛)
 8 次回プログラム発表(割愛)
 8:20 点鐘
 8:30 上里学園出発
 挨拶
 例会趣旨説明
 10:00 ～ 桐生が岡動物園 入場
 動物園・水族館 見学→昼食→遊園地
 14:30 桐生が丘公園退場・出発
 15:50 上里学園到着 解散

本庄RC事務局

〒367-0021 本庄市東台2-3-1F KRSビル4F
 TEL: 0495-22-7522 FAX: 0495-22-3571
 E-mail: honjorc7522@gmail.com
 URL: https://www.honjyo-rc.org



ホームページQRコード

3

会長の時間



会長 坂田 清茂

皆さんおはようございます。

今日は青少年奉仕委員会が中心となり、また今日もお来しいたっている児玉RCとの共同事業でもある上里学園支援プロジェクトです。

このプロジェクトは5年前の五十嵐会長年度からの継続事業ですが、それまでロータリー以外で上里学園とお付き合いのあった五十嵐さんが、ロータリーの奉仕活動としてふさわしいのではということで提案、スタートさせたと聞いています。

私個人としては、今朝家内に確認してきたんですが10年ほど前に上里学園から高卒女子が入社してきて、本人は親から虐待を受け身を寄せていたと言っていました。

数か月間社員寮から徒歩で通勤し、その後貯めた給料で原付バイクを買い、2年後くらいに軽自動車を買ってましたね。すごく優秀で入社5年くらいしたら改善活動のリーダーとして工場の生産性向上に積極的に活動して先輩たちを引っ張って行きました。

ただ、誰と話をする時も一度も「目を合わせてくれなかった」のを印象として残っています。

これからバスで桐生が岡動物園と遊園地に小学生の子供たちを連れて行くわけですが天気にも恵まれて楽しんでもらえるのではないかと思います。

今日一日よろしくお願いします。

児玉 RC 会長 田嶋 聡

皆さんおはようございます。

私たちもこの事業に賛同しており二人で参りました。

少しでもお役に立ちたく、児玉RCが参加することで

ロータリー財団補助金を引っ張れるということなので、より充実した支援事業になればありがたいと思っています。

所用があって現地までは行けませんがよろしくお願いします。

4

幹事報告

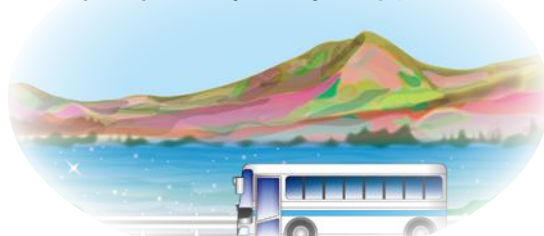


幹事 織田 裕之

お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。
幹事報告はとくにございません。
今日一日よろしくお願いいたします。



なぞなぞやお喋りで楽しく向かいました



例会セレモニーのご参加ありがとうございました



到着後の挨拶と説明



山田製作所 桐生が岡動物園

会員数 **94** 名 (出席免除会員 2 / 出席義務会員数 92)

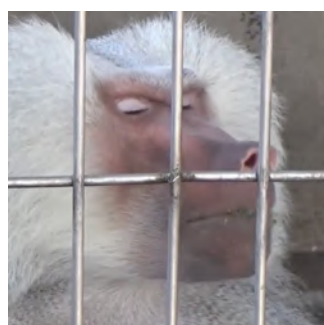
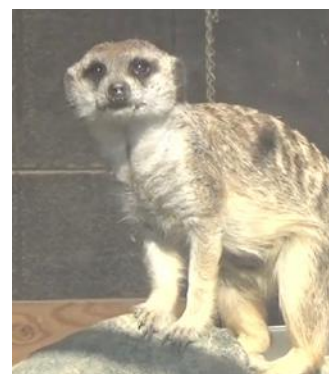
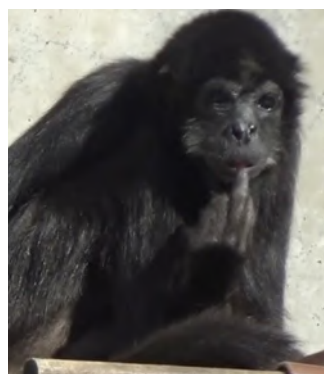
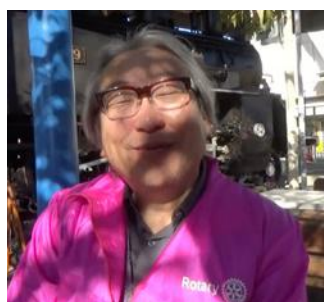
本日の出席会員数 **23** 名

本日の出席率 **26.6%**



スポットライト
HIGHLIGHT

桐生が岡動物園&遊園地



スポットライト HIGHLIGHT 昼食



昼食は“たつ吉”の唐揚げ弁当✕

“たつ吉”の飯塚荘一さんはなんと
桐生ロータリークラブの会員
ロータリアンでした。



大人はとり重でした💡
うなぎ専門店のとり重のタレは
濃厚で深い味わいでした👍

掲
示
板

INFORMATION

今週の掲示板

上里学園プロジェクト

移動例会
桐生が岡動物園



YouTube



あとがき



愛される喜びを
知っているのなら
愛する尊さもきっとわかるはず。

育児中、息子の保育園の遠足で来た記憶をたどりながら“ど”がつく程の目立つピンク色軍団と園内を散策しつつメンバーたちも思い出様々に楽しんでいるように私からは見えました。

学園の子どもたちも皆、先生の愛あるご指導のおかげでしょう、それはそれは明るく楽しい子どもばかりでした。

『優秀で勤勉な学園出身の子が入社したけれど、誰と話す時も一度も目を合わせなかった』と本日の会長の時間を週報編集時に反復しながら私は思うのでした。

無条件に愛を注がれて育つうちに、それはやがて自分が存在する大きな自信に繋がるのだと思います。私の周りは躊躇なく多くの人と関わることのできる面々ばかりでその人達はきっと多くの愛を浴びてこられ、今があるのだとも思います。

私自身『その根拠のない自信はどこからくるの?』と問われることがよくあります。万年反抗期といわれていた幼少期から青春期のそんな私も、口うるさい母親の後ろにある大きな愛を感じながら精いっぱい反抗しておりました☹️そこには計ることの出来ない親の大きな愛情があったと今はよくわかります。

ロータリーの奉仕活動も根本に『愛』がないと出来ない事業ばかりです。それに携わることができている今の自分は本当に恵まれているのだと改めて感じました。

愛について語るいつもより少しまじめな『後書き』で今回は締めくくりたいと思います。

須田礼子

2023-2024年度 公共イメージ委員会

担当副会長／橋本和也

委員長／須田礼子 副委員長／小田切浩

委員／渋谷健司・金井福則・長崎隆司・中谷嘉宏・内田 徹